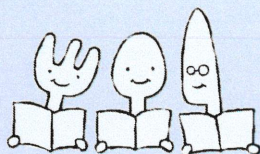


2024 WINTER



おすすめの 絵本

燕市の図書館から赤ちゃんとおうちのかたへ
おすすめの絵本をご案内します。



本の検索や予約
図書館ホームページ



イベント情報
X (旧 Twitter)



電子書籍
電子図書館



赤ちゃんにおすすめ絵本
燕市ホームページ

お問い合わせ 燕市立図書館 0256-62-2726 吉田図書館 0256-92-7650 分水図書館 0256-91-3255

0~2 さい向け



『おいしいおいしいかくれんぼ』

村田 夏佳//作
アリス館

まんまるかがみもち…?かと思ったら、もふもふの白い犬! かりかりのからあげや、さんかくおにぎりにかくれんぼしているのは誰かな?おいしい食べ物にかくれている、かわいい犬たちを探してみよう。おいしくて、かわいくて、楽しい!遊び心いっぱいの絵本。



『ねないこだれだ』

せな けいこ//さく、え
福音館書店

夜の9時。夜中はおばけの時間です。寝ない子はおばけの世界に連れていかれてしまいます。一見こわいおはなしでありながら、はり絵で描かれたおばけからは、不思議とぬくもりが感じられます。何度でも開きたい、こわいのに会いたくなる…。そんな魅力がたっぷり詰まった、長く愛され続ける名作です。



『ねこにゃんこれなーんだ?』

ももろ//さく、え
岩崎書店

「これ なーんだ?」楽しいシルエットクイズのはじまりはじまり。登場するのはねこだけでなく、あの動物まで…!ちょっと意外な答えの連続に、飽きることなくあてっこを楽しむことができます。優しいタッチや色合いが、ふわふわであったかいいねこのイメージにぴったりです。

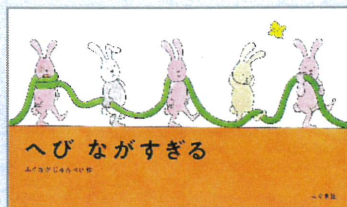
3~5 さい向け

『へびながすぎる』

ふくなが じゅんべい/作

こぐま社

登場するのは、ながすぎるへび。このへび、本当にながいがい！ながすぎるがゆえに、動物たちは誰もへびだと気付かないまま、すべりだいにしたり、おおなわとびのなわにしたり、楽しく遊びます。でも気が付いていなかったのは、動物たちだけではなかったみたい…！最後まで目が離せません。



『ぱんつくったよ。』

平田 昌広/作 平田 景/絵

国土社

「ぱん、つくったよ。」と「ぱんつ、くったよ。」では大違い！言葉の区切りを変えるだけで、意味が変わってしまう文章がたくさん登場します。読み聞かせをする大人も、聞いている子どももつい笑っちゃう。そして、何度読んでもおもしろい！楽しみながら言葉への親しみを育める、言葉遊び絵本です。

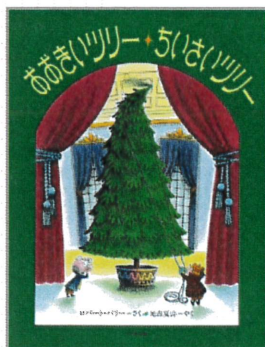


『おおきいツリー+ちいさいツリー』

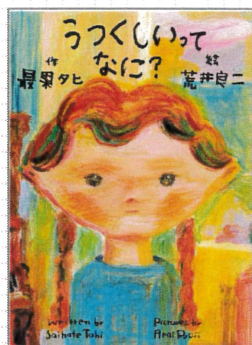
ロバート・バリー/さく 光吉 夏弥/やく

大日本図書

大きなお屋敷に届けられた大きなツリー。ツリーは大きすぎたので、先を切られてしまいます。ツリーの先は行く先々でまた切られ、それぞれの家にぴったりおさまっていくのです。ツリーの先はどんだん人や動物たちの手に渡り、みんなを笑顔にします。クリスマスに読みたい、幸せな物語です。



うちのカタ向け

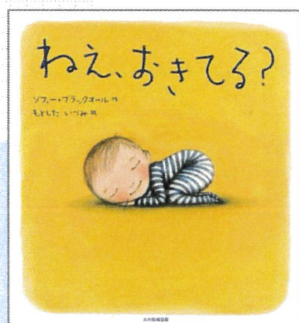


『うつくしいってなに?』

最果 タヒ//作 荒井 良二//絵

小学館

女の子が窓から見ている情景、そしてそれを映す瞳。やがてやってくる、静かな夜…。やわらかな言葉とあたたかい絵で描かれた世界が、心をやさしく包み込んでくれます。読後は、そのやさしさに身をゆだねて目を閉じ、自分にとっての「うつくしい」をゆっくりと感じてみてください。



『ねえ、おきてる?』

ソフィー・ブラックオール//作 もとした いづみ//訳

光村教育図書

まだ薄暗い朝4時の寝室で、「ねえ、おきてる?」から始まる、小さなエドワードからの質問の嵐。ママの目を無理やりこじあけて、質問は続きます。眠い目をこすり、質問に答えるママの様子に共感してしまいます。過ぎてしまえばこんな大変な時間も、いとおいしい時間になってしまうのかも知れませんね。



『きみのそばにいるよ』

いぬい さえこ//さく、え

パイインターナショナル

森に暮らす小さくてふわふわの動物たち。夜になると月明かりの下では、やさしい話し声が聞こえてきます。その様子をそっとのぞいてみる絵本。我が子へ、友人へ、動物たちは種別をこえて、心に寄り添うあたたかい言葉を交わしています。私たちの心へも響く、お守りにしたいようなメッセージばかりです。